

進路通信 増刊号

令和5年7月3日
進路指導室

先日、教育実習に来ていた先輩たちがどのような高校生活を送り、将来を考え、受験を突破したか、教えてもらいましたので、紹介します。スペースの都合、全員分は掲載していません。

1. 実習生の出身大学・学部学科と、決めた理由

追手門学院大学 経済学部経済学科 日本経済の仕組みを知りたかったから。
佛教大学 文学部国文学科 (四年生 同志社大学グローバルコミュニケーション学部中国語学科) 将来の目標を叶えるために決めました。
近畿大学 理工学部・理学科(数学コース) 本格的に学びたかった数学を学びながら教員を目指せるカリキュラムが組めたから(教員採用試験合格実績などを見ました)
龍谷大学 文学部歴史学科 専門性を深めたいため
関西外国語大学 英語国際学部英語国際学科 英語と中国語学べること、留学プログラムがカリキュラム内にあること、教員を目指すことができること、この3点から、関西外国語大学英語国際学部決めました。
関西大学 外国語学部 関大の外国語学部を志望した理由は一年間留学が必須であることと教員免許が取得できること、同時に通訳などの専門領域も学ぶことができる点に魅力を感じたからです。また、文系と理系学部が同じキャンパスにある大学なので、より幅広い一般教養科目が学べることも志望理由の一つです。

Point:今後何を学びたいか、将来就きたい職業などが明確ですね。実際にオープンキャンパスに参加し、その学校の良さを知って決めるのもよいでしょう。

2. 進路を決めたのはいつ頃か。

高2の夏まで：1 高2の夏以降：2 高3の1学期：3

Point:早くから目標が定まっていると、学校の授業や家庭学習に対するモチベーションが高く保てます。遅くても高3の1学期には進路が明確になり、受験勉強を始める必要があります。

3. 受験勉強を本格的に始めた時期は。

高2の夏：2 高2の冬：2 高3の1学期：2

Point:ほとんどの人が高3の1学期までに受験勉強を本格化しています。特に夏休みは、丸1日を受験勉強に費やすことができますので、それまでに基礎基本を徹底復習し、夏休みは志望校の過去問を繰り返し解いて、入試問題に慣れていくようにしましょう。

4. どのような受験勉強をしたか。(時間ややり方)

基本は塾へ勉強をしに行き、家ではひたすら赤本や参考書を解いていました。

一日の勉強時間は10時間程度で、志望大学に受かるためには必要な勉強が何かを最初に考えてから勉強に着手しました。

まずは近畿大学の過去問を一度解き、できなかった部分を考えたのち、問題集などで問題を解き進めた。(大体一日1~2時間くらい)

1日の目標を決めて達成するまでです！

早めから取り組み苦手なものを優先するように心がけた

英単語は必ず毎朝晩するようにしていました。また、部活動を引退するまで(3年夏まで)は1日4時間は必ず勉強するようにし、通学時間(電車で1時間も)勉強時間に充てていました。部活引退後は一日約6時間勉強していました。

英語科なので英語の話をする時と、学校で使っていたネクストステージ(現在のビンテージ)を何度も繰り返して解いて解説の理解にも努めました。単語も覚えるのが苦手でしたので、フラッシュカードを使って単語を覚え、覚え終わったカードを千切って空き缶で作った単語貯金箱に貯めていきました。定期的にその箱を開けて既に覚えたカードでランダム単語テストもしました。覚えた単語量が視覚的に見えるのでおすすめです~ちなみにカードを千切って貯金箱に入れたらその数だけ新しいフラッシュカードを付け加えていっていました。

Point:実習生の出身大学のような難関大学へ進学するためには、かなりの学習時間、自分に合った勉強法が必要です。電車通学の方は、通学時間も無駄にしないよう、時間の使い方が徹底しています。受験生に与えられた時間をみんな平等です。どう使うかで今後の進路が大きく変わってくるでしょう。

裏に続く

5. 教師を目指した理由は。

誰もが楽しく勉強できるような、教育の人になりたいと思ったから。

将来に悩む子どもたちの手助けがしたいと思い志望しました。

中学生のときの当時の部活動の顧問の先生を見て、厳しいながらも生徒たちに信頼されるその先生の姿を見て、自分もそのような教員になりたいと考えたから

小学校から先生に影響されて、自分もそんな教員になりたいと思ったから。

きっかけは高校の恩師の影響です。

元々英語が好きだったこともあり中学生のことから英語に関わる仕事に就きたいと思っていました。高校進学後、部活動の顧問の先生や担任の先生と関わる中で、私もそのような先生みたいになりたいと思い教師を目指しました。

私が阿倍野高校で学んでいた時に、様々な先生方のおかげで国際交流や英語スピーチコンテストなど、数々の貴重な経験をすることができました。これらの経験を通じて、視野が大いに広がり、英語や海外に対する関心も一層深まりました。そして、自分自身も教師として、自らの経験を活かし、多くの生徒たちに視野を広げる手助けをしたいという思いが芽生え、教師を目指すことを決意しました。

Point:いい先生との出会いが、教師を目指すきっかけになっているようです。

6. 受験の成功体験や失敗談（後輩へのアドバイス）

受験3ヶ月前など、ギリギリではまず無理です。（緊張や焦りで勉強に集中できない。）
早めにコツコツと復習から勉強を始めると、後がかなり楽です。

私は浪人しているので現役生である一年目の受験は失敗しました。その時に自分に足りてなかったのは、明確なゴール設定でした。志望大学に入るために自分に不足しているものを自覚し優先的にそれを潰す作業を繰り返すことで志望大学に合格することができました。

現在、勉強の仕方が分からないなど悩んでいる子は気軽に相談してください！一緒に悩んでゴールを見つけましょう！！

まず、勉強を始めるタイミングに早いも遅いもありません。確かに大学受験などを考えるのであれば遅いと考えられることもあると思います。しかし、「勉強しないと」と考えてから勉強を始めるということは途中で勉強をやめた人よりもはるかに素晴らしいことだと思います！

だからこそ「勉強しないと」と思ってからでも勉強を続ければ、今、結果は出なくても将来、絶対に役に立つと思います！（僕は1年生のときから勉強をやっていたので、高校在学中に指定校推薦という結果に結び付きました！）

浪人を経験したので、他の子よりも遠回りした。だからこそ、同じ思いをしてほしくないのに計画性を持って常にゴールのために何が逆算をして勉強してほしい。

私は部活の忙しさはありましたが限られた時間で、日々勉強していました。その結果、受験勉強では苦手科目に時間を費やすことができました。この経験から毎日コツコツ努力することが大切であると思います。部活動が毎日あったり忙しいかもしれませんが、まずは1日1時間勉強する時間を取ることをしてみてください。そうすれば3年生で選択肢が増えると思います。後は自分を信じて努力し続ければきっと結果はついてきます。皆さんの努力が報われるよう応援しています！

大学選びで迷っている人はぜひ実際にその大学に行って雰囲気を見てみてください～短縮授業の際などに平日の大学を見てもリアルな雰囲気がわかるのでおすすめです。また、似ている大学や学部を比べて、何が違うのかというところに注目していくとその大学の特色などがわかりやすいです！

最後にスティーブ・ジョブズの有名な名言を貼っておきます～

You can't connect the dots looking forward; you can only connect them looking backwards. So you have to trust that the dots will somehow connect in your future.

今している努力は将来必ず何らかの形で繋がるので信じて突き進んでください。応援しています:D

Point:4, 5年前は、浪人してでも夢を実現しようとする卒業生がたくさんいました。（阿倍野高校では30～40人の浪人生がいました。）ここ数年は浪人回避の傾向が強くなり、「入りたい学校」ではなく、「入れる学校」に入学していきます。自身の学力が十分高まり、「入れる学校」であればよいのですが、目標を持たなかったり、受験勉強が十分できなくて（やらなくて）「(第3志望以下の) 入れる学校」に入学する卒業生が少なくありません。明確な目標を持ち、最大限の努力をして「(第1志望で) 入れた学校」で学べるように、進路指導室は支援していきたいと思っています。

